

# 大阪大学図書館報

Vol. 14, No. 1 April 1980

## 目次

○ ウェルギリウス2000回忌を前にして	○ 寄贈図書案内
○ 特別図書購入一覧 (その1)	○ 会 議
○ 語学用テープの利用と一覧リスト	○ 日 程
○ 教官著作寄贈図書	○ 人 事
○ 本館受入参考図書	

## ウェルギリウス2000回忌を前にして

中山 恒 夫

ウェルギリウスがギリシア旅行からの帰途病気になる、イタリア半島の南端に近いブルンディシウム（現在のプリンディシ）に上陸後間もなく没したのは、紀元前19年9月20日のことと記録されているから、1981年が2000回忌、翌年が没後2000年に当たるわけである。欧米の学会では数々の催しが企画され、雑誌は競って特集号を編むことであろう。

ローマの詩人の中でウェルギリウスくらいよく研究されている詩人はない。19世紀の冷淡な評価の時期が過ぎて、今世紀の初めハインツェが「ウェルギリウスの叙事詩の技法」と題する画期的な著書によって彼の独創性を浮き彫りにして以来、すぐれた研究と新しい解釈が次々に現われ、評価はすでに決定したと思われるのにもかかわらず、今日なお続々と研究が発表されている。ある雑誌が掲載した目録によると、1964年からの10年間に現われた文献の点数は1300余に及んでいる。つまり3日に1点の割合で直接間接にウェルギリウスを扱った著書や論文が出版されている計算になる。そのすべてに目を通すことは、まず不可能というものである。

これだけ盛んに研究されていると言えば、作品の量も相当なものだろうと想像されるかもしれないが、実は、紀元前43年ころから没年までの24年間に彼が制作したのは、牧歌集『詩選』10歌（1巻）、教訓詩『農耕詩』4巻、叙事詩『アエネーイス』12巻、合計17巻、これですべてである。当時の書物は巻物だったので、巻別になっているが、1巻はおよそ500行から1000行くらいで、大した量ではない。全17巻をオックスフォード大学出版局の古典テキストでは1冊422ページに納めている。つまりわずか1冊の本に世界中のラティニストが群がり集って、飯の種にしているのである。

しかし創作量の少なかったのはウェルギリウスだけではない。先輩のカトゥルルスも、僚

## 語学用テープの利用と一覧リスト

本館では外国語学習用のテープを所蔵しており、館外貸出をしています。貸出の規則は、1人1セット（テープとテキスト）で、期間は1週間以内となっています。所蔵しているテープの主なものは、次のとおりです。利用者の皆さんが、語学力を向上させるために、活用して下さることを希望します。

- |   |  |
|---|--|
| 英 語   | by Davy, D. (Linguaphone Institute)  |
| 化学英語シリーズ 1,5-7集 (化学工業社)   | English;through pictures book 1-2.   |
| 工業技術英語の構文 篠田義明著 (南雲堂)   | by I. A. Richards. (Yohan Pub.)  |
| 工業技術英語の基礎 篠田義明著 (南雲堂)   | Special English series;Engineering.  |
| 工業技術英語入門 篠田義明著 (研究社出版)  | Book 1-2. (Collier Macmillan)  |
| 医学英語の話し方の基礎 第1～5編<br>(金原出版)   | Special English series;Medicine.<br>(Collier Macmillan)                                      |
| 英語速解シリーズ セルフチェック方式<br>1-10巻 (研究社出版)   | 新口語米語教本 中級用 高本捨三郎編<br>(南雲堂)  |
| 日本人のためのアメリカ英語<br>by J. W. Ney (南雲堂)   | Modern English an oral Approach.<br>Intermediate Course, 9-12.<br>(Seido Language Institute) |
| マザー・グース童謡集 平野敬一編<br>(ELEC 出版部)  | 大学生のための米会話教本<br>G. W. Parrott 著 (南雲堂)  |
| カセット現代の英語 桃沢力著 (三修社)  | 英語の対話演習 1-2 (英語教育協議会)  |
| 米会話発音教本 東谷岩人編著 (南雲堂)  | Special English journalism. Book 1-2.<br>(Collier Macmillan)                                 |
| 英語の発音とヒアリング 高本捨三郎編著<br>(南雲堂)  | NHK テレビ英語会話初級 田崎清忠著<br>(日本放送出版協会)  |
| New English Phonology. by S. Komoto.<br>(南雲堂)   | 英語会話コーヒー・ブレイク 東後勝明著<br>(日本放送出版協会)  |
| English 900;a basic course. Vol.1-6.<br>(Collier Macmillan)   |  |
| Intensive course in English;cassette<br>tapes LL. Elementary pt. 1-2,<br>Intermediate, Advanced pt. 1-2,<br>Special Studies.<br>(English Language Services) | ドイツ語   |
| 英検1-4級カセットブック<br>(日本英語教育協会)   | ドイツの歌と民謡 志田麓他編 (第三書房)  |
| The new intensitive course in English.<br>Elementary pt.1-2,Intermediate pt.1-2,<br>Advanced pt. 1-2.<br>(English Language Services)                        | 耳から学ぶドイツ語入門 藤田五郎著<br>(三修社)   |
| Practing American Conversation.<br>(ソニーランゲージ ラボラトリー)  | カセット 新しいドイツ語入門 1-2<br>(朝日出版社)  |
| Advanced English course. 7th ed.  | ドイツの歌からドイツ語へ 北垣篤編 (南江堂)  |
|   | カセットテープ ことばの旅;ドイツ<br>中島悠爾著 (日本放送出版協会)  |
|   | カセット・現代のドイツ語入門 小塩節、<br>柏原兵三共著 (三修社)  |
|   | 改訂ドイツ語日常会話 H. Jahn, 星野慎一<br>共著 (第三書房)  |
|   | カセット・ドイツ語基礎会話 佐藤晃一、  |

- R. R. Wuthenow 共著 (郁文堂) アテネ・フランスセ フランス語の発音  
 カセット・ドイツ語会話35 植田敏郎著 (郁文堂) カセット セット 福井芳男著 (早美出版社)
- ドイツ語会話; こんにちは、エーリカ!  
 川島淳夫編 (第三書房) 基礎フランス語会話 福井芳男 丸山圭三郎  
 Deutscher Kursus. Deutscher Kursus (ランゲージ・サービス) 共編 入門コース、初級コース  
 Übungen. (The Linguaphone Institute) フランス語で話しましょう 福井芳男著 (第三書房)
- 基礎ドイツ語会話 上巻 (ランゲージ・サービス) 実用フランス旅行会話16日間 長塚隆二著  
 ドイツの詩と音楽 赤井恵爾 (南江堂) (駿河台出版社)  
 カセットセット・ドイツ詩集 ひとりで学ぶフランス語会話 安田悦子著 (第三書房)
- R. Schinzinger 編 (第三書房) フランス語  
 フランス語入門 朝倉秀雄著 (日本放送出版協会) (Russian Language)  
 アテネ・フランセ フランス語入門 福井芳男著 (早美出版社) ロシア語スキット集 藤沼 貴著 (日本放送出版協会)
- スタンダードフランス語入門 福井芳男著 (大修館) 入門ロシア語 灰谷慶三著 (白水社)  
 カセットテープ ことばの旅; フランス 福井芳男著 (日本放送出版協会) カセットブック・中国語読本 上・下 北京商務印書館編 (東方書店)
- フランス語で歌いましょう 福井芳男著 (第三書房) LL中国語 初・中・上級 興水優著 (大修館)  
 フランス語を始めましょう 福井芳男著 (第三書房) 標準韓国語; 基礎から会話まで 朴成媛著 (高麗書林)
- 新フランス語入門 前田陽一著 (岩波) カセットテープことばの旅; スペイン・中南米 荒井正道著 (日本放送出版協会)
- 楽しいフランス語入門 福井芳男、丸山圭三郎著 (駿河台出版社) 入門スペイン語 寿里順平著 (白水社)
- 絵を見て学ぶすなおなフランス語入門 家島光一郎、窪川英水共著 (第三書房) 入門イタリヤ語 秋山余思著 (白水社)  
 ルーマニア語の入門 直野敦著 (白水社) カセット現代のイタリヤ語入門 奥野拓哉著 (三修社)

その他外国語

===== 教官著作寄贈図書 =====

—— 本 館 ——

厚東洋輔 (人・助教授)  
 ヴェーバー社会理論の研究 (現代社会学叢書) 厚東洋輔著 (東京大学出版会 昭52)

—— 理学部分室 ——

向畑恭男 (理・助教授)  
 International Symposium on Cation Flux across Biomembranes, Inter-University Seminar House of Kansai, Kobe, Sept. 10-13, 1978. Cation flux across biomembranes. ed. by Yasuo Mukohata, Lester Packer. (Academic 1979)

—— 中之島分館 ——

園田孝夫 (医・教授)  
 尿路外科学X線診断図譜 園田孝夫他編 (医歯薬出版 昭54)

作田正義 (歯・教授)  
 小口腔外科学 作田正義他著

(学建書院 昭54) 疾患モデル 動物ハンドブック 川俣  
川俣順一 (微研・教授) 順一、松下宏編 (医歯薬出版 昭54)

### 本館受入参考図書

(昭和55年2月)

#### ◇ 総記 ◇

ふみくら 朝日新聞編 (出版ニュース社)

図書学辞典 長沢規矩也編著 (三省堂)

Verzeichnis Lieferbarer Bücher;

Schlag wort-Verzeichnis; 1978/79.

(Buchhändler-Vereinigung)

Books in print supplement 1978-1979;

authors titles subjects. (Bowker)

International books in print 1979.

(Saur)

Subject guide to books in print

1978-1979. Vol. 1-2 (Bowker)

The British national bibliography

annual volume 1950-1975, index

1950-1970. Ed. by A. J. Wells.

(The Council of the British National  
Bibliography)

古名録 本文・研究・総索引、別巻 畔田  
翠山著 杉本つとむ編著

(早稲田大学出版部)

訓蒙図彙 中村楊斎著(早稲田大学出版部)

Meyers neues Lexikon. Bd. 18. 2.

Aufl. (VEB Bibliographisches Int.)

Grande enciclopédia portuguesa e

brasileira. Vol. 1-40.

(Editorial enciclopedia)

Bibliographie analytique des thèses

de doctorat des universités de

France (1966-1974). (Aidlupa)

Comprehensive dissertation index

1977 supplement. Vol. 1-5.

(University Microfilms International)

Encyclopedia of association. Vol. 1.

12th ed. (Gale Research)

#### ◇ 哲学 ◇

秦漢思想研究文献目録 坂出祥伸編

(関西大学出版広報部)

韓国仏教書誌考 安春根著 日韓文化情報  
センター訳 (同朋舎)

New catholic encyclopedia, Vol. 1-17.

(McGraw-Hill)

#### ◇ 歴史 ◇

日本史用語大辞典 同編集委員会編

(柏書房)

Dizionario biografico degli Italiani.

Vol. 21. (Enciclopedia Italiana)

#### ◇ 社会科学 ◇

古地図研究 日本地図資料協会編

(国際地学協会)

行政百科大辞典 1～6 (ぎょうせい)

長期経済統計 14, 貿易と国際収支

大川一司編 (東洋経済新報社)

Sources of information on the

European communities. Ed. by

Doris M. Palmer. (Mansell)

教育学・教育問題に関する10年間の雑誌文

献目録 昭和40年～昭和49年

(日外アソシエーツ)

#### ◇ 自然科学 ◇

ラルース現代数学百科 by Chambadal,

Lucien. (平凡社)

#### ◇ 工学・技術 ◇

Encyclopedia of computer science

and technology. Vol. 11. (Dekker)

#### ◇ 芸術 ◇

西洋美術史小辞典 Pierce, J. S. 著

大西広〔ほか〕訳 (美術出版社)

新・外国音楽家の呼び方 日本放送会編

(日本放送出版協会)

映画の事典 同編集委員会編 (合同出版)

#### ◇ 語学 ◇

吉利支丹版羅葡日対訳辞書備考 第1～2集

島正三編 (文化書房)

## ◇ 文 学 ◇

Brewer's dictionary of phrase and fable, rev. by I. H. Evans. assell) (Cassell)	The Cambridge history of English literature Vol. 1~8. Ed. by A. W. Ward (The Univ. Pr.)
現代短歌鑑賞辞典 窪田章一郎、武川忠一 編 (東京堂出版)	簡約イギリス文学標記 尾崎閑堂編著 (啓文社)
俳句文学館俳誌目録 (俳人協会)	Contemporary poets. 2d ed. Ed. by J. Vinson. (St. James)

## 寄 贈 図 書 案 内

## 〈北山文庫〉—北山草堂叢書並びに雑書—

「懷徳堂」の最後の専任教授であった吉田北山氏の御子息吉田晋氏より、北山文庫445点792冊の寄贈があった。既に昭和27年、文科系学部の図書資料充実のために、北山文庫として約4000冊の寄贈を受け、現在書庫6階貴重図書コーナーで管理している。今回は吉田晋氏の自宅書庫に所蔵されていた資料のなかの、北山文庫と関連の深い一部を寄贈されたもので、既所蔵分と合わせて北山文庫関係資料としては大いに充実したことになる。

資料には、北山氏の講義草稿や、論語等の典籍の解釈書等、懷徳堂の当時の様子を知る上で貴重な資料が、数多く含まれている。またこのなかには、懷徳堂の玄関写真三葉もあり戦災前の重要文化財の建物の姿が偲ばれる。

主なものは、○論語逢原 中井履軒著 北山抄、○懷徳堂先賢遺稿 北山撰、○懷徳堂印存、○古文孝経 北山講本、○安政以後之懷徳堂、○病牀侍記 北山記、○懷徳堂夜話、○康斎先生文集 上・下、○康斎先生日録、○赤穂義士実話 西村天因編、○山片幡桃 亀田次郎著、○懷徳堂考 上・下 などである。

## 〈中華人民共和国寄贈図書〉

このたび、中華人民共和国教育部から、同国駐在大使館を通じて、国立七大学（北海道大学・東北大学・東京大学・名古屋大学・京都大学・大阪大学・九州大学）に対して、図書が寄贈された。内容は、歴史関係、文学関係のものが主で、近年、北京中華書局より出版された著名な古典であり、総冊数は39点、310冊である。

主なものを列記すると以下の通り。○史記、○漢書、○後漢書、○三国志、○晋書、○宋書、○南齊書、○梁書、○陳書、○魏書、○北齊書、○周書、○隋書、○南史、○北史、○旧唐書、○新唐書、○旧五代史、○新五代史、○宋史、○遼史、○金史、○元史、○明史、○唐宋詩拳要、○文選、○中原音韻、○李太白全集、○陸游集、○云崗石窟、○資治通鑑、○唐詩別裁集、○宋詩別裁集、○元詩別裁集、○詞綜、○漢印文字征、○三国志通俗演義。

## 〈ドイツ文化センター寄贈図書〉

大阪堂島にあるドイツ文化センターより、文学、社会学、歴史学、心理学、教育学関係の資料を360冊余り寄贈されたもので、ドイツ語の洋書がほとんどである。ドイツの写真入り案内書等もあるが、なかには、J. G. Fichte の Nachgelassene Werke, 3 vols の1834年版(Bonn)の覆刻版、Martin BuberのBriefwechselの3冊本、また、Goethe, Heinrich Heine, H. Böll 等の全集や、音楽、社会学、教育学等のドイツ語辞書もみられる。

その他には、Benn, Gottfried : Gesammelte Gedichte (1957). Goethe : Faust (1962). Goethe : Dichtung und Wahrheit (1962). Böll, Heinrich : Werke. Kants Werke - Akademie Textausgabe -. Hundert Jahre Deutsches Konsulat Kobe 1874 - 1974. (神戸ドイツ領事館開設100年祭) などがある。

## ■■■■■■■■■■ 会 議 ■■■■■■■■■■

——大阪大学附属図書館業務機械化検討委員会——

55. 2. 8. 13:30~16:30 (本館会議室)

### 第3回 委員会議事要録

この委員会では報告として、門田掛長より「大学図書館における情報処理トータルシステムの開発——雑誌管理サブシステム」について説明があった。

このなかで、当システムは特定の大学のシステムではなく、大学図書館業務の標準的システムを目的としたものであること、各大学で適用する場合は当該大学のスケール、業務内容に応じ使われるべきものであること等について報告があり、それに対し国際的な書誌コード等との関係、利用サイドからの標準化の問題などが論議された。

つづいて、九州大学における図書館業務機械化計画の現状について、1月末講師として派遣された際の報告があった。

その他、大学のシステムと地域センターとの関係、機械化に伴う制約と計画など当委員会の計画作成の要素となるものについては、広く検討を加えていくこと等が了承された。

## ■■■■■■■■■■ 日 程 ■■■■■■■■■■

- 55. 2. 1. 第2回国公立大学図書館協力委員会及び大学図書館長との懇談会  
(国立国会図書館)
- 55. 2. 13. 昭和54年度第3回国立大学図書館協議会常務理事会及び昭和55年度国立大学図書館協議会賞受賞者選考委員会  
(東京大学)
- 55. 2. 25. 昭和54年度第3回近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館業務の機械化に関する委員会  
(京都大学)
- 55. 2. 27. 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館施設に関する研究集会  
(大阪外国語大学)

## ■■■■■■■■■■ 人 事 ■■■■■■■■■■

### 来訪者

- 55. 1. 21. 竹原悦郎 東北大学附属図書館総務課課長
- 55. 2. 4. 小川修正 科学博物館会計課課長
- 55. 2. 8. 浅野次郎 東京大学附属図書館整理課課長
- 55. 2. 12. 上西 憲 愛知県立大学附属図書館主事
- 55. 2. 18. 渋谷喜雄 筑波大学附属図書館運用課課長補佐